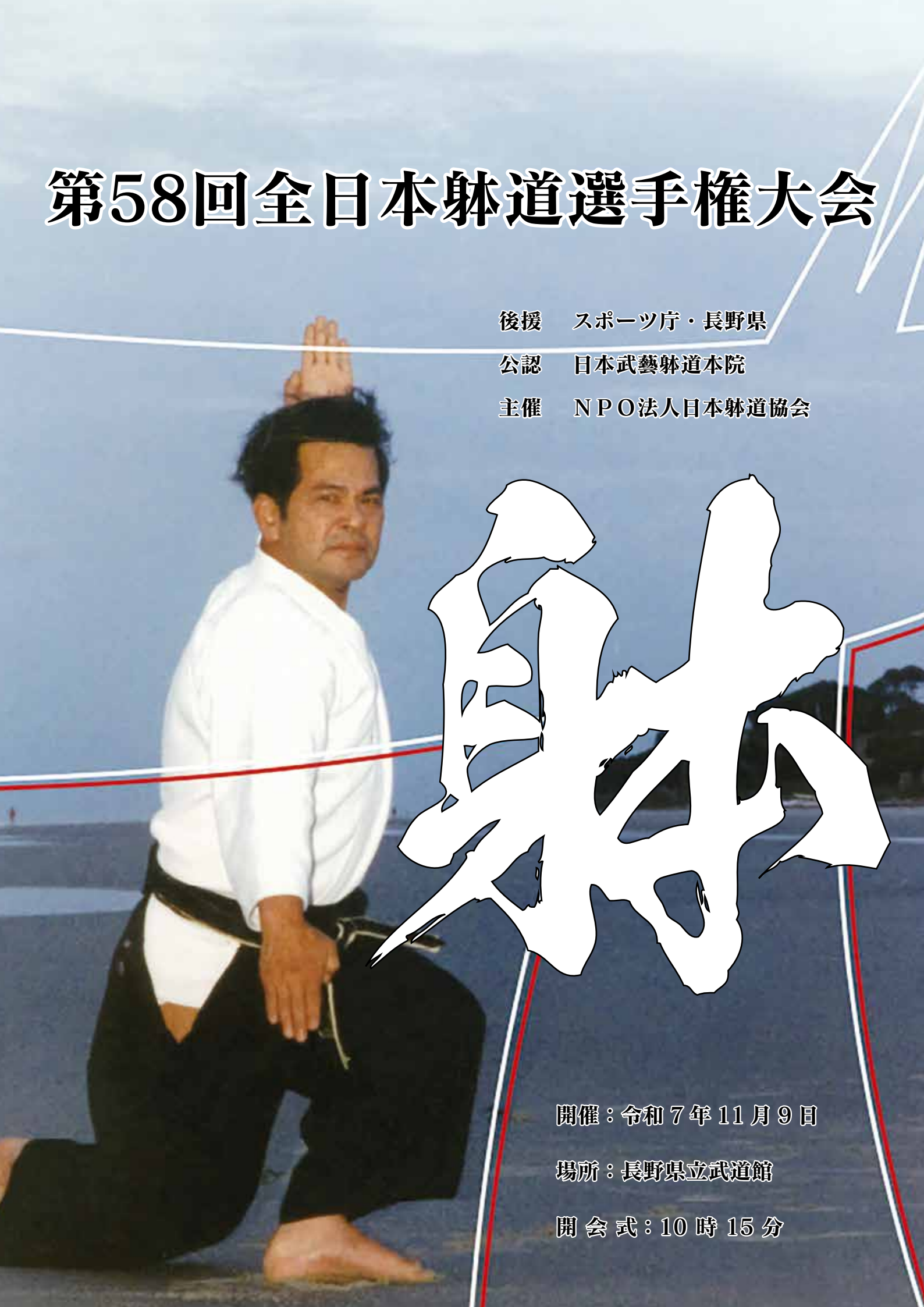


第58回全日本躰道選手権大会

後援 スポーツ庁・長野県

公認 日本武藝躰道本院

主催 NPO法人日本躰道協会



開催：令和7年11月9日

場所：長野県立武道館

開会式：10時15分



創造と調和の動く芸術



躰道五条訓

- 一、心明鏡にして諸行の実相を写し
心位正しきを得れば惑さる事なし
- 一、態端正にして心形の一体を固り
態位正しきを得れば侮られる事なし
- 一、氣充溢にして精氣を丹田に発し
氣位正しきを得れば恐れ戦く事なし
- 一、行實踐するに倫理の常道を守り
行位正しきを得れば誤り行う事なし
- 一、技応変にして身体を自在に移し
技位正しきを得れば制される事なし

岳雲



躰道への創始

昭和20年第二次世界大戦の末期、玄制流祝嶺正献最高師範は特攻隊員として、沖縄近海で作戦中の敵艦に攻撃の内命をうけ、肉迫必中の術策を懸命に思案。そのときに、旋・運・変・捻・転の運動法則を基にした動態に発想をえて、三次元の運動空間に適応できる実技を編みだした。

昭和21年大分県南海部郡明治村の山中、23年沖縄県国頭郡久志村の海上にある無人島で運技・変技・転技の一部を創作して24年静岡県伊東市において実技を初めて公開。28年から約10年間東京を中心に大学・自衛隊・会社団体等120余の関係道場で実験的に指導するなかで、新武道を創造するための基礎的な内容を整え、37年に旋技・捻技を完成し、各技をまとめて躰技と称するようになった。

昭和38年「躰道」として旋・運・変・捻・転の実技を科学的に解明するために、人間の存在、社会の状態、宇宙の処理等と、武道における公理の根源要素、人格完成の思想との相関関係を基に原理化をはかる。

昭和40年に、動功（操体の原理）制御（相剋の原理）法形（体・制・玄）経絡（陰陽の調整）などと「物理像」「生理像」「心理像」「情緒像」を一元的に体系化して「躰道」を集大成した。

ご挨拶



日本武藝躰道三代宗家 祝嶺 正猷

躰道創設、並びに日本躰道協会設立から 60 周年を迎えた 2025 年も残す所二ヶ月となりました。今年はまだ創設者生誕から 100 年という年にもあたり、センチュリー単位での立ち位置を意識して短期的、長期的目標を定め活動が続けようと協会設立を叶えた師の 100 歳記念は令和の時代から平成、昭和を振り返るきっかけとなる年でもありました。

四方を海に囲まれ大陸からの技術や文化、渡来人の思想や行動様式、習慣から学んだものが国の成り立ちに大きく関わっています。言語や宗教的価値観、民族、地域性といった風土に馴染むことが人の生死を分ける時代が長く続きますが、20 世紀に入り日本のみならず、数多くの戦争を体験したヒト社会が技術開発により作り上げた武器やノウハウの使用により、むしろ失ったものへの喪失感から得た教訓を土台に次の時代にどう関わっていけるのか、果たして 21 世紀に活かせるのかどうか躰道の目指す所でありました。

1945 年、19 歳で詠んだ辞世の句から 20 年。自分の持つ武道の知識と技が縁で繋がり広がった人の輪と和が戦後復興から再生を遂げようという風潮に上手く馴染み、その中で得た関係者皆さまからのご支援が躰道協会の設立、後の普及活動への大きな支えとなりました。21 世紀、データ量とその処理能力において人工知能がヒト社会に齎す生産性と経済性は高く、西暦 2000 年当時にパソコン保有台数や移動電話（ケータイ）契約数が情報化社会的マップに示されていますが、多少の世代間格差があるもののスマホが一人一台である現在までの 25 年間の変遷を見てとることができます。技術開発をヒト社会の進化に、安心安全に暮らす環境保護のためにも攻撃性や殺傷性の高いものやその操作は眺めるまでに留めておきたい。循環型社会を目指すのであれば尚のこと、データ化された行動様式が検体化する生態の人間性、その意思の所在を一方的に取り扱い利用され続けることだけは回避しなければならない。自己を防衛する本能が理性的に利他的なコミュニティ創出へとつながることを願って止みません。

長野県立武道館、この畳をお借りしての第 58 回大会が開催に至りましたのも日本躰道協会、並びに近隣県協会の皆さまの実績と信用に因るものと、衷心より感謝申し上げます。昭和 100 年となる今年、生きて 100 歳を迎えることは叶いませんでしたが、この 100 年が師の短期的、長期的な目標のいずれかに沿った形で迎えられたかどうか、選手権大会出場者の立ち位置から評価して頂ければと思います。その半生をほぼ裸一貫、生誕の地沖縄を離れて以来、道衣だけが身も心も安らぐ故郷であったに違いない師の姿に今一度光を当てるべき年でした。最後になりましたが、権威ある選手権大会に駒を進められた皆様の全戦健闘をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

ご 挨 拶

大 会 会 長 市川 みのる



この度、第 58 回全日本剣道選手権大会が、ここに盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位に、深く感謝申し上げます。

本年は、剣道創設 60 周年、そして創始者・祝嶺正献最高師範の生誕 100 周年という、誠に意義深い節目の年にあたります。

祝嶺先生が提唱された「調和」「創造」「礼節」の理念は、単なる武技の粋を超え、人間形成の道として、今日に至るまで多くの人々の心に深く根を下ろしてまいりました。その精神は、国内外の多くの団体に受け継がれ、世代を超えて多くの修練者に影響を与え続けています。

本大会は、そうした剣道の歩みと精神を改めて振り返り、未来へとつなぐ記念すべき舞台でもあります。選手の皆様におかれましては、日々の鍛錬の成果を存分に発揮されるとともに、競技を通じて互いを尊重し、切磋琢磨されることを心より願っております。

また、剣道は単なる競技ではなく、心身の調和を追求する「道」であります。その本質は、礼に始まり礼に終わる武道の精神に根ざし、現代社会においても多くの示唆を与えてくれるものです。

今大会が、選手のみならず、指導者、大会運営者、そして観客の皆様にとっても、剣道の魅力と可能性を再認識する機会となることを、心より願っております。

最後になりましたが、祝嶺正献先生のご遺志を受け継ぎ、日々剣道の普及と発展に尽力されているすべての皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

そして、本大会が実り多きものとなり、剣道の未来がさらに輝かしいものとなりますよう、心より祈念し、挨拶とさせていただきます。

大会会長

大会会長 市川みのる (NPO 法人日本躰道協会 相談役)
大会副会長 奥山 安雪 (日本武藝躰道本院最高会議 議員)

特別顧問

中村 正弘 (日本武藝躰道本院最高会議 議長)
近藤 光男 (日本武藝躰道本院最高会議 議員)
志摩 制基 (日本武藝躰道本院最高会議 議員)
工藤 善己 (NPO 法人日本躰道協会 相談役)

大会顧問

[五十音順]

浅川力三	阿部淳一	池内和彦	石川健次	泉智慶	井上雅生
大川公男	岡本俊一	加藤明彦	菅野智行	北村幸三	小松原孝
佐藤純悦	柴田鐵太郎	芝波田邦博	新里治英	武田良夫	立川孝義
田中勇泰	谷本勝博	中塚晶次	村正光明	鳴海恵一	舟瀬真重
穂坂義彦	山本清隆	宮崎友登	元野清光	山下巖	山田重幸

大会役員

[五十音順]

大会総務委員会

委員長 板山 宜弘 (NPO 法人日本躰道協会 理事長)
副委員長 岡本 衛 小林 大輔 (NPO 法人日本躰道協会 副理事長)
委員

青木寛敏	伊岐見洋喜	大江潤	太田寛	大田雄介
加賀谷宏	兼田寛之	北村幸則	久保誠	清田義男
金野道程	黒田知子	木間和也	小林清喜	小林光司
小林真由	小松武年	坂本巧文	櫻岡育	土井誠子
中野哲爾	中田明寛	鍋田和文	ヒューゴソン・アルヴァル	伏見典子
船本高正	福長寛之	三上安敦	森大治	横山典子
良本真基				

大会実行委員会

委員長 石川 欣一
副委員長
委員

山崎真瑛	村瀬和都	宇野友季子	小松慎太郎	千倉佳吾
春日世生	飯島功仁	山本琉太		
石野果穂	大島悠太郎			

大会進行委員会

委員長 山崎 真瑛
委員

萩原利克	涌井貴志	小林誠弥	古田一行	柳澤美沙子
中嶋久美子	磯野遥	宇部真広	藤田政徳	植田恵理子
根津貴宏	朴將文			

医 務

医務責任者 大須賀 穂高

大会審判

大会審判長 審査員



安部幸四郎 (8段)



ヒューゴソン・アルヴァル (8段)



小松 武 (7段)



小林 学 (6段)



千葉 健志 (6段)



小林 真由 (6段)



内田 航太 (6段)



小林 大輔 (6段)



北澤 秀明 (6段)



中野 哲爾 (6段)



板山 宜弘 (6段)



春日 世生 (6段)



小牧 武 (5段)



横山 典子 (4段)



丹野喜美男 (4段)



並木 將志 (6段)



濱中 孝之 (6段)



渡會 太一 (5段)

10:15 開会式

大会宣言	大会実行委員長	石川 欣一
大会会長挨拶	第58回全日本剣道選手権大会会長	市川みのる
宗家挨拶	日本武藝剣道三代宗家	祝嶺 正献
来賓挨拶		
優勝杯返還		東京城南地区剣道協会
選手宣誓	宮城県剣道協会	佐々木尚希
剣道五条訓	東京城南地区剣道協会	山口 海斗

10:45 競技開始

16:30 閉会式

表 彰 授 与	
講 評	審判長 安部幸史郎
閉 会 の 辞	大会副実行委員長 山崎 真瑛

出場者一覽

[illegible]

競技説明

法形競技

法形競技とは俗に言う「型」で剣道では「法形」と言います。「創造進化の武道」と唱う剣道では「型にはまる」事を嫌っています。その為に「法則に乗っとりかつ変化する物」という意味で「法形」と言っています。

同じ法形でも個人戦と団体戦があり、「個人戦」では次に述べる法形の十大要素に基づき採点されます。

1. 用意と起心
2. 体軸と整体
3. 攻防と陰陽
4. 緩急と強弱
5. 伸縮と剛柔
6. 気合と威力
7. 着眼と目標
8. 呼吸と勢法
9. 運足と運身
10. 残心と解体

「団体戦」では、やはり出場選手5人の調和が最も重要視され、次に技の難易度や、構え緩急の使い方等が判定のしどころとなっています。また見る側からするとどの様な陣型をとるかも興味深いところです。

壮年法形は「呼吸法」を主体に勢命の法形、活命の法形、延命の法形の三つがあります。この法形では各技が呼吸と合った使い方がされているかが見られます。



実戦競技

実戦競技とは俗に言う「組み手」で剣道では「実戦」と言います。この実戦を解り易く言うとは剣道は「力勝負」を嫌うという事です。剣道では、選手同士が全身全霊の栄智を傾け、技で勝負をします。その為に直線的、感情的な動きをさけ、戦略的、



理性的な試合運びをします。そこで足の運びや「虚(きょ)」に乗じた技が出され観客にとってはいつの間にか技が出たという印象を受けます。判定には「有効」「技有り」「一本」があります。とりわけ、「一本」は完全に相手を制した時に判定されます。

団体戦では5対5で戦います。団体戦で他の武道と違う所は背番号制であり、1番は「旋・運」2番は「運・変」3番は「変・捻」4番は「捻・転」5番は「転・旋」というように、各人が得意の技の番号を選び、その技を中心に戦います。もしその技が決まれば「技有り」が一本になる事があります。これは作戦を持って相手を制した事での一本という判定です。

展開競技

展開競技は主役1名と脇役5名で技を展開し競い合う団体戦です。剣道特有の競技です。ルールとしては主役が25秒から30秒以内に脇役全員を倒します。その中で各チームの5人の脇役は1(旋)、2(運)、3(変)、4(捻)、5(転)のゼッケンを持ち、その持番の技を主体に主役を攻めます。その際に技を工夫しいろいろな角度から新しい技を次々と繰り出していきます。転がったり、ジャンプしたり、三次元空間を利用した動きの中から技を展開します。

審判は、それらの技をいかに無理無駄なく確実に脇役が主役をねらい、主役が脇役を倒し、技の展開が十分行われているかを判定し、点数をつけます。



栄光の記録

回数	年月	順位	男子団体実戦競技	女子団体実戦競技	男子団体法形競技	女子団体法形競技	男子展開競技	女子展開競技	男子個人実戦競技	男子個人法形競技	壮年法形競技	女子個人法形競技	女子個人実戦競技	総合成績
第49回	27年11月	優勝	山梨県	千葉県	東京城南	東京城南	山梨県	新潟県	佐々木秀彰	中野哲爾	島宮 満	瀬藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	新潟県	東京城南	青森県	東京城北	新潟県	千葉県	湊 宏司	嶋本幸之助	芝波田邦博	稲見安希子	植田美輝子	千葉県
		3位	東京城南	東京城西	山梨県	新潟県	東京城南	東京城南	木間和也	上原弘之	刀禰伯彬	佐藤 愛	佐藤絳色	新潟県
第50回	28年11月	優勝	愛知県	千葉県	北海道	東京城南	山梨県	東京城南	佐々木拓真	中野哲爾	田部英知	瀬藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	新潟県	東京城南	福島県	北海道	新潟県	東京城北	金子智一	嶋本幸之助	荒井和美	稲見安希子	瀬藤有希	千葉県
		3位	山梨県	神奈川県	千葉県	千葉県	東京多摩	千葉県	土井嘉津也	齋藤健太	芝波田邦博	望月杏奈	奥山みなみ	北海道
第51回	29年11月	優勝	東京多摩	北海道	東京城南	新潟県	新潟県	北海道	金子智一	上原弘之	田部英知	瀬藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	山梨県	千葉県	北海道	北海道	東京城南	千葉県	油井 陽	齋藤健太	荒井和美	稲見安希子	稲見安希子	北海道
		3位	愛知県	東京多摩	千葉県	東京城南	千葉県	東京城南	堀米遼太	嶋本幸之助	泉 智慶	田 和 茜	平山愛子	新潟県
第52回	30年11月	優勝	愛知県	北海道	北海道	東京城南	東京城南	北海道	油井 陽	上原弘之	田部英知	瀬藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	東京多摩	千葉県	東京城南	千葉県	北海道	北海道	金子智一	花岡拓海	荒井和美	稲見安希子	奥山みなみ	北海道
		3位	静岡西部	東京城南	千葉県	北海道	北海道	静岡県	佐々木尚希	名倉崇広	土井光司	荒井 湧映	植田美輝子	千葉県
第53回	1年11月	優勝	愛知県	千葉県	東京城南	北海道	東京城南	東京城南	金子智一	上原弘之	小林真由	瀬藤有希	植田美輝子	東京城南
		2位	宮城県	東京城西	北海道	新潟県	埼玉県	北海道	油井 陽	山口海斗	土井光司	小谷夏子	稲見安希子	千葉県
		3位	千葉県	北海道	千葉県	東京城南	北海道	新潟県	佐々木尚希	齋藤健太	島宮 満	稲見安希子	奥山みなみ	北海道
第54回	3年11月	優勝	新潟県	千葉県	東京城南	東京城南	新潟県	千葉県	油井 陽	齋藤健太	土井光司	木勢茉莉	稲見安希子	東京城南
		2位	埼玉県	北海道	北海道	北海道	東京城南	東京城南	金子智一	山口海斗	小林真由	山 愛子	平山愛子	千葉県
		3位	東京多摩	東京城南			北海道		湊 宏司	花岡拓海	泉 智慶	小谷夏子	木勢茉莉	北海道
第55回	4年11月	優勝	新潟県	千葉県	東京城南	東京城南	新潟県	千葉県	油井 陽	齋藤健太	島宮 満	稲見安希子	植田美輝子	千葉県
		2位	東京多摩	北海道	千葉県	千葉県	東京城南	東京城南	金子智一	山口海斗	星野菜穂子	木勢茉莉	稲見安希子	東京城南
		3位	愛知県	東京城南	北海道	新潟県	千葉県	北海道	木村雅和	下屋大輔	小林真由	長谷川桜子	木勢茉莉	新潟県
第56回	5年12月	優勝	新潟県	東京城南	東京城南	千葉県	静岡県	千葉県	油井 陽	齋藤健太	島宮 満	百瀬晴菜	木勢茉莉	東京城南
		2位	愛知県	東京城西	北海道	東京城南	東京城南	千葉県	金子智一	山田光流	荒井和美	稲見安希子	植田美輝子	千葉県
		3位	千葉県	千葉県	千葉県	東京城西	新潟県	東京城西	木村雅和	阿部 舜	杉村和之	稲見安希子	山際真穂	東京城西
第57回	6年11月	優勝	愛知県	東京城南	東京城南A	東京城南A	東京城南A	東京城南A	佐々木尚希	山口海斗	土井光司	木勢茉莉	山際真穂	東京城南
		2位	東京城南	千葉県	東京城南B	千葉県A	東京城南B	千葉県A	金子智一	名倉崇広	多田倫子	百瀬晴菜	稲見安希子	千葉県
		3位	新潟県	東京城西	千葉県B	東京城南B	千葉県A	東京城南B	林 元	齋藤健太	島宮 満	稲見安希子	宇野友季子	東京城西

祝

第 58 回全日本躰道選手権大会

チャレンジ25! 感謝を力に新たな夢へ!!
日本システムバンク

ノ サカ ノブ ヨシ
 代表取締役社長 **野坂 信嘉**

コインパーキング
 COIN PARKING SYSTEM

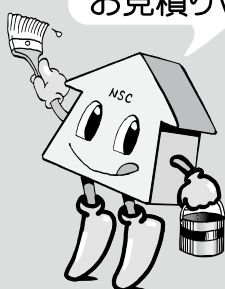
充電スタンド
 ELECTRIC CHARGING SYSTEM



福井本社 〒910-0006 福井県福井市中央 3-5-21 TEL: (0776) 30-1800 FAX: (0776) 30-1801 <http://www.syb.co.jp>
 さいたま支店 〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎 2-5-2 TEL: (048) 823-8740 FAX: (048) 823-8741 info:saitama@syb.co.jp
 本支店: 東京・渋谷・神奈川・札幌・名古屋・京都・大阪・神戸・福岡・金沢・富山・長野

お見積りやご相談は無料です。お気軽にご相談ください。

埼玉県知事許可(般-2) 第73359号



内装センター株式会社

フリーダイヤル **0120-889-018**

〒350-0155 埼玉県比企郡川島町釘無214-8

【TEL】049-298-3531 【FAX】049-291-0504

【E-mail】info@naisou-c.net 【URL】<https://www.naisou-center.com>

小規模営繕から大規模改修まで

施設・店舗・自宅の
 ウイルス対策に 除菌・消臭

- クロス張替
- 水廻り修繕
- 網戸貼替
- ふすま畳替え
- 健康床暖房
- 外装塗装
- 白アリ防除



看板・ネオン・一般電気設備工事
 変電設備工事・鉄骨鋼構造物工事

有限会社 **ロードサイン**

代表取締役 **河上 英二**

〒350-0013 埼玉県川越市洪井930-1

TEL 049 (235) 7388(代)

FAX 049 (235) 7387

携帯電話 090-3062-9989

e-mail info@road-sign.net

建設業埼玉県知事許可 第7941号

有限会社 **加島屋**

一級土木施工管理技士

代表取締役 **加藤 益敬**

埼玉県川越市大字的場1884-1

TEL 049 (231) 2100(代)

FAX 049 (231) 2124

祝

第 58 回全日本躰道選手権大会



株式会社 天極 株式会社 天道 株式会社 天地人

祝 第58回 全日本躰道選手権大会

東京トロフィー株式会社

トロフィー
カップ
旗
パッチ

メダル
タイ止め
製造直販
賞状

TEL:03-3933-2830
FAX:03-3931-8084



レーザー彫刻
承ります

東京都練馬区北町2-30-19
ホームページアドレス
<http://www.tokyotrophy.com>
E-MAIL info@tokyotrophy.com



造園 土木 施工管理 緑化樹木卸

きれいな空気とやさしい心を緑の木から

株式会社 埼玉植物園

TEL 048-281-0124 FAX 048-284-9284
〒334-0002 埼玉県川口市鳩ヶ谷本町3-23-4

<http://www.saitama-shokubutsuen.com/>
mail: saisyok3@wonder.ocn.ne.jp

本社/戸田営業所



祝

日本躰道協会創設 60周年
最高師範生誕 100周年
東京城東地区躰道協会

理事長	岡本 衛
荒川道場	原 譲之
浜町道場	山崎 真瑛
江戸川道場	島宮 満
墨田区志鍊会	大橋 正芳

東京科学大学躰道部・仁雄会(OB会)



新大学名となり新たな歴史がスタートしました。

へん ぎ どう こう ご かい
変技の動功五戒

変体運風

雲が風に靡いてその影が変幻することくに、体を素速く倒木状に倒すように変化させながら行いなさいという戒め。

【道歌】【倒れゆく 身を定めぬ 変体は 雲向漂変 変影となれ】

起発制股(踵)

起発部位となる股間や軸足の踵を制されないように、それを意識して素速く行いなさいという戒め。

【道歌】【倒す体 起発の本は 股にあり 踵かえして 防ぎ躲せよ】

変体風靡

相手の動きに逆らわずに、体が風に靡くように体を前後左右に倒しながら行いなさいという戒め。

【道歌】【右左 前後の攻めに 逆らわず 吹く風そよと 靡き忘れよ】

三鼎共合

軸足と体を倒した時の両手(または片手)の位置が正三角形を作るように体を安定させながら行いなさいという戒め。

【道歌】【手足位置 鼎のごとく 置き定め 繰り出す技に 力まとめよ】

気海即決

体を倒すので低い位置から斜め上方に向かって気海を目標に技を施しなさいという戒め。

【道歌】【気の海を 高くのぞみて 施すは あふるる元気 止めよと思へ】

祝嶺正献 最高師範 年譜

年	出 来 事
1925 年 (大正 14 年)	沖縄県名護市有銘汀間に生まれる。本名は祝嶺 春範(はるのり)
1933 年 (昭和 8 年)	佐渡山安恒先生師事し、沖縄空手を初めて学ぶ。
1937 年 (昭和 12 年)	岸本祖孝氏に師事し、沖縄武道「手(ティー)」の修行を深める。
1945 年 (昭和 20 年)	第二次世界大戦にて海軍特攻隊員(人間魚雷)として柳井潜水艦基地に配属。終戦により九死に一生を得る。この極限体験が三次元運動空間に適応できる技法創作に深く影響。
1946 年 (昭和 21 年)	大分県明治村山中にて、運技・変技・転技の基本技の一部を創作。
1947 年 (昭和 22 年)	和子様とご結婚。
1948 年 (昭和 23 年)	沖縄県国頭村海上にて、運技・変技・転技の基本技の一部を創作。
1949 年 (昭和 24 年)	静岡県伊東市にて、実技の公開指導。
1953 年 (昭和 28 年)	玄制流空手道を創始し、大学・自衛隊・企業など団体にて指導開始。
1954 年 (昭和 29 年)	テレビの生放送(神田公会堂)にて、祝嶺最高師範演武を披露(公相君大の型・試し割 瓦34枚)。各団体にて、天位の型・地位の型・人位の型・三才の型を指導。
1956 年 (昭和 31 年)	大日本武徳会から空手道八段範士の称号を授与される。
1962 年 (昭和 37 年)	旋技と捻技を完成させ、旋運変捻転を統合し「躰技」と呼称する。
1963 年 (昭和 38 年)	躰道の実技をまとめ、人間の存在・社会の動態・宇宙の真理・武道の公理・法形の思想関係を原理化する。
1964 年 (昭和 39 年)	全日本空手道連盟に参加。著書「新空手道教範」を出版。玄制流の理論と技法を体系化。
1965 年 (昭和 40 年)	動功操体の原理、制御相剋の原理、体気呼吸の原理、法形、経絡などに関する物理像・生理像・心理像・情緒像を一元的に体系化し、躰道の実技体系を集大成。 新武道「躰道」を創始・公表し、日本躰道協会および躰道本院を設立。 会長・宗家・最高師範に就任し、空手界と完全に袂を分かち、独自の武道哲学を確立・展開する。
1967 年 (昭和 42 年)	第1回全日本躰道選手権大会開催(町田市)。第1回全国学生躰道優勝大会開催。躰道新報創刊。
1968 年 (昭和 43 年)	第2回全日本躰道選手権大会を東京体育館で開催。東京都中野区に日本躰道協会事務局を開設。日本躰道協会媒体拡充のため大学への説得と一般に説破作戦を実行。
1969 年 (昭和 44 年)	変体・捻体・転体の法形の指導開始。アポロ月面着陸に躰道実技の三次元空間での球体運動状態を再確認。
1970 年 (昭和 45 年)	玄位の法形発表。新種目 女子法形競技。躰道の歌を発表。
1971 年 (昭和 46 年)	企業・建設省・高校等に躰道部発足。全日本選手権大会2日間開催。新種目 団体法形
1972 年 (昭和 47 年)	動功八軌士誕生
1973 年 (昭和 48 年)	天制の法形発表。第1回全国高校生躰道優勝大会開催。第1回全国実業団躰道優勝大会開催。
1974 年 (昭和 49 年)	呼吸整体法発表。第1回全国範士大会開催。
1975 年 (昭和 50 年)	日本躰道協会分結拡散導入。三十二軌士誕生。全国36都道府県に269躰道協会加盟。新種目 壮年法形競技。国外12ヶ国にて外国躰道指導統括。
1976 年 (昭和 51 年)	活命の法形発表。新種目 女子相対競技。
1977 年 (昭和 52 年)	祝嶺制献から祝嶺正献に変更。第1回全米躰道選手権大会開催。
1979 年 (昭和 54 年)	第1回全国少年少女躰道優勝大会開催。スペイン躰道協会発足。
1981 年 (昭和 56 年)	陽玄の法形発表。
1983 年 (昭和 58 年)	世界躰道連盟設立し、初代総監に就任。躰道国際局を発足。
1984 年 (昭和 59 年)	第1回国際躰道親善大会を開催(東村山市)
1986 年 (昭和 61 年)	第20回全日本躰道選手権大会(新国技館)にて、延命の法形を発表。
1987 年 (昭和 62 年)	第1回ヨーロッパ躰道親善大会開催(スウェーデン)
1988 年 (昭和 63 年)	躰道概論発刊。転陰の法形を発表。
1989 年 (平成 元 年)	国際躰道競技大会(仙台市)開催。第1回ヨーロッパ大会開催(スウェーデン)
1990 年 (平成 2 年)	全日本選手権大会を東京武道館で開催。
1991 年 (平成 3 年)	第1回全国社会人躰道優勝大会開催。第2回ヨーロッパ大会開催(ポルトガル)
1993 年 (平成 5 年)	第2回国際躰道親善大会(藤崎町)・第1回世界躰道選手権大会開催(東村山市)。
1995 年 (平成 7 年)	第3回ヨーロッパ大会(フランス)
1997 年 (平成 9 年)	第2回世界躰道選手権大会・第3回国際躰道親善大会開催(フィンランド)。
1999 年 (平成 11 年)	第4回ヨーロッパ大会・第4回国際躰道親善大会開催(スウェーデン)。
2001 年 (平成 13 年)	第3回世界躰道選手権大会・第5回国際躰道親善大会開催(沖縄県那覇市)。 11月26日、静岡県伊東市の躰道本院「岳雲荘」にて没す。享年76。
2002 年 (平成 14 年)	1月20日に行われた最高師範お別れの会にて、日本武藝躰道宗家襲名 二代目祝嶺 正献を和子様が襲名(東京會館) 八段範士8名が後見人(高道玄三朗、近藤光男、中村正弘、志摩制基、土井肇、板山昌司、池内和彦、斎藤登)



東京都中野区中央5-38-13 エスエス10 A702/TEL.03(5342)2322/FAX.03(5342)2321
mail: office@taido.gr.jp/web-site: http://www.taido.gr.jp